

めぐみイエス・キリスト教会

2025年1月12日(日)第二主日礼拝

午前10時より

週報「通算第740号」



2025年標題聖句

イザヤ書40章30節～31節

《若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌148「夕べ雲焼くる」 p. 206

【交読文】 No.50 イザヤ書53章(抜粋) p. 919

【賛美Ⅱ】 新聖歌299「山辺に向かいてわれ」 p. 476

【使徒信条・主の祈り・前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「み言葉にかえろう」

【聖書朗読】 ルカの福音書8章4節～15節

【礼拝説教】 《あなたにとって聖書(み言葉)とは?》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ルカ8章4節～15節)新約p.127上段

8:4 さて、大勢の群衆が集まり、方々の町から人々がみもとにやって来たので、イエスはたとえを用いて話された。

8:5 「種を蒔く人が種蒔きに出かけた。蒔いていると、ある種が道端に落ちた。すると、人に踏みつけられ、空の鳥が食べてしまった。

8:6 また、別の種は岩の上に落ちた。生長したが、水分がなかったので枯れてしまった。

8:7 また、別の種は茨の真ん中に落ちた。すると、茨も一緒に生え出てふさいでしまった。

8:8 また、別の種は良い地に落ち、生長して百倍の実を結んだ。」イエスはこれらのことを話しながら、大声で言われた。「聞く耳のある者は聞きなさい。」

8:9 弟子たちは、このたとえがどういう意味なのか、イエスに尋ねた。

8:10 イエスは言われた。「あなたがたには神の国の奥義を知ることが許されていますが、ほかの人たちには、たとえで話します。『彼らが見ていても見るのがなく、聞いていても悟ることがないように』するためです。

8:11 このたとえの意味はこうです。種は神の言葉です。

8:12 道端に落ちたものとは、み言葉を聞いても信じて救われないように、後で悪魔が来て、その心からみ言葉を取り去ってしまう、そのような人たちのことです。

8:13 岩の上に落ちたものとは、み言葉を聞くと喜んで受け入れるのですが、根がないので、しばらくは信じていても試練のときに身を引いてしまう、そのような人たちのことです。

8:14 茨の中に落ちたものとは、こういう人たちのことです。彼らはみ言葉を聞いたのですが、時がたつにつれ、生活における思い煩いや、富や、快樂でふさがれて、実が熟すまでになりません。

8:15 しかし、良い地に落ちたものとは、こういう人たちのことです。彼らは立派な良い心でみ言葉を聞いて、それをしっかり守り、忍耐して実を結びます。

●ポイント1. 聖書(み言葉)とは？

※詩篇119篇105節「足のともしび・道の光」 (旧約p.1065下段)

119:105 あなたのみ言葉は私の足のともしび私の道の光です。

●ポイント2. 主イエス様の約束とは？

※マタイの福音書6章31節～33節「山上の垂訓から」(新約p.11上段)

6:31「ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。

6:32 これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。

6:33 まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」

◎先週のメッセージ【主にある人生とは？】

《今年の標題聖句はイザヤ40章30節と31節です。ここで、神様は、ご自身がどんなお方であるのかを明確にされています。「あなたは知らないのか。聞いたことがないのか。主は永遠の神、地の果てまで創造した方。疲れることなく、弱ることなく、その英知は測り知れない。」と。

そして、「主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。」と言われるのです。実は、それには条件があるのです。「主を待ち望む者」という条件です。旧約時代の人々は「メシア」の訪れを待ち望んでいました。そして、現在の私たちは、主イエスの再臨を待ち望んでいます。

さて、今日のメッセージタイトルは、「主にある人生とは？」ということなのですが、イザヤ書には、神様の約束が書き記されています。

『恐れるな。私があなただを贖ったからだ。私はあなたの名を呼んだ。あなたは、私のもの。私はあなたの神、あなたの救い主であるからだ。私の目には、あなたは高価で尊い。私はあなたを愛している。恐れるな。私があなたと共にいるからだ。』と。特に「私は人をあなたの代わりに」と言う箇所は、主イエスの身代わりの十字架を予言しているとも思われます。また別の箇所では、次のように約束されています。

『ヤコブの家よ、私に聞け。胎内にいたときから担がれ、生まれる前から運ばれた者よ。あなたがたが年をとっても、あなたがたが白髪になっても、私は背負う。私は運ぶ。背負って救い出す。』と。

主にある人生とは、主と共に歩む人生ということですが、しかも、主は、私たちに背負って下さるのです。主イエスは、よみがえられた後、弟子たちに、『「私には天においても地においても、すべての権威が与えられています。見よ。私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいます。』と、約束されました。イザヤに語られた主なる神様は、主イエスであることを、ご自身が弟子たちに明確にされたのです。》

◎お知らせ

※次回は2025年1月19日午前10時より、通常通り行ないません。